

11月の出来事

- 時 事
- 10/31 26.9兆円の追加経済対策を発表
日銀、0.2%利下げ
- 11/4 米大統領にオバマ氏
- 山梨県中央会ニュース
- 11/2 中小企業団体親睦ゴルフコンペ
- 11/7 山梨県産業観光エクスカーション
- 11/12 正副会長会議
- 11/18 情報連絡員会議
- 11/20 第60回中小企業団体全国大会

12月の予定

- 12/2 地域力連携拠点・経営セミナー
(3・9・11・16・17日)
- 12/7 中小企業組合検定試験

紙面から

- 2面 施策情報/息吹
- 3面 景況情報/業界の声
- 4面 アクティブ組合
- 5面 労改連/中央会青年部県大会
レディース中央会全国大会
- 6面 中央会全国大会/情報BOX
- 7面 ゴルフコンペ
インターンシップ体験記/情報BOX
- 8面 知事懇談会

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215代 FAX 055(237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

山梨県中小企業団体中央会機関誌 平成20年度中小企業組合活性化情報



12月1日(月曜日)2008年 第623/200号(毎月1日発行)
定価100円(昭和36年4月10日 第三種郵便物認可)



滞在型観光地づくりを目指して

山梨県の産業観光の魅力を発信

葛野川発電所のしくみや発電所から家庭までの電気の流れについて説明を受けた。駒橋発電所は、長距離送電発祥の地として、我が国の近代化に貢献した草分けの水力発電所であり、ここで作られた電気は、東京の麻布・麹町一帯に灯りをもたしたという。葛野川発電所は、甲州市を流れる日川の源流部の上日川ダムと大月市を流れる相模

葛野川PR館・駒橋発電所・葛野川発電所

今回の産業観光エクスカーションは、マスコミ関係者には山梨の魅力を知ってもらう、記事にしてみようという、エージェンツには新たなツアー企画の作成を行ってもらうことを願って実施した。そして、このことをとおして、本県への観光客が増加し、滞在型観光地化に寄与することを目的に実施した。

その概略は次のとおりである。
本年度では、11月7日(金)から8日(土)にわたり、テレビ・ラジオ・雑誌記者及び旅行エージェンツを対象に、山梨県産業観光エクスカーションを実施した。
近年、観光客のニーズの多様化や旅行形態の変化に伴い、新たな観光資源の開発やエージェンツを取り入れた特色のある観光ルートの開発など、旅行者のニーズに合わせた魅力のある商品の必要性が指摘されており、本会では、産業観光に焦点を充てて昨年より観光振興を図っている。

川水系土室川の中流部の葛野川ダムとの有効落差(714m)、揚水式発電では世界一を誇る(を)利用しているという。山梨県に本格的な水晶工芸が興ったのは江戸時代後期のことであり、今でも山梨県のジュエリー産業は、日本一を誇っている。

石友の製造工程を見学するとともに、職人から直接話を聞くことができた。また、印傳屋上原勇七では、製造工程の見学コースを視察し、鹿皮をなめして、上から漆で模様を置いた日本製の甲州印傳は、使い込むほど皮が「しなやか」になり、「漆」に艶が出て手にじむ希少な商品であると説明を受けた。

山梨県に本格的な水晶工芸が興ったのは江戸時代後期のことであり、今でも山梨県のジュエリー産業は、日本一を誇っている。

山梨県に本格的な水晶工芸が興ったのは江戸時代後期のことであり、今でも山梨県のジュエリー産業は、日本一を誇っている。

トンネルワインカーブ・大日影トンネル遊歩道・ワインツーリズム2008
明治の鉄道遺産 大日影トンネルはJR中央線のトンネルとして開通し、その後のぶどうやワインの輸送に大きな影響を与え、周辺地域に大きな革命をもたらした。平成19年8月29日に遊歩道として新たにスタートした。貴重なレンガ積み、旧深沢ト

ンネルは、ワインの健全な長期熟成及び付加価値を高める施設(ワインカーブ)として整備され、ワインリーや全国のレストラン・飲食店、ワイン愛好家等に広く活用されている。また、ワインツーリズムは、ワインの産地山梨の一番の魅力の一つである。人がそこにいることを、実際に見て、食べて、飲んで、感じてもらうイベントで、1500人を超える参加者が29日のワインリーをシャトルバス又は散策してまわったが、ワインリー周辺の道路には笑顔が浮かべて会話をする人々があふれていた。



説明を熱心に聴く参加者

栄誉

秋の叙勲・褒章に組合関係者3名が受章

政府は、11月3日付で平成20年秋の叙勲・褒章受章者を発表した。褒章は山梨県内で6名が受章し、その内、公衆の利益を興し他の模範となるような優れた業績が認められた人を対象とする藍綬褒章に、金井芳雄氏（山梨県食品工業団地協同組合理事）が選ばれた。

また、叙勲は、山梨県関係の受章者は29名が受賞し、社会・公共に対し功労がある者の内、顕著な功績を挙げた人に贈られる旭日双光章に石沢道夫氏（元山梨県トラックターミナル協同組合理事長）、瑞宝小綬章に桜林幹夫氏（元山梨県中小企業団体中央会専務理事）がそれぞれ選ばれた。

●褒章

藍綬褒章

金井芳雄氏

●山梨県食品工業団地協同組合
理事



●叙勲

旭日双光章

石沢道夫氏

●山梨県トラックターミナル
協同組合 理事



●叙勲

瑞宝小綬章

桜林幹夫氏

●山梨県中小企業団体中央会
専務理事



県政功績者・組合関係者 7名が受章

山梨県は、平成20年度の県政功績者54人と3団体を12日付で発表した。組合関係者では7名が栄えある受章を受けた。



松葉 惇氏

山梨県中小企業団体中央会 副会長
元協同組合山梨県ジュエリー協会 理事長



藤江 厚夫氏

山梨県中小企業団体中央会 理事
元都留機械金属工業協同組合 理事長



飯島 覚氏

山梨県ガラスサッシ商工協同組合 理事長



石原 行彦氏

山梨県トラック協会 副会長
山梨県トラック事業協同組合 副理事長



嶋田 光行氏

元山梨県貴金属工芸協同組合 理事長



鈴木 実氏

元山梨県アパレルソーイング工業組合 理事長



加藤 基道氏

元身延駅前しょうにん通り商業協同組合 理事長

最低賃金の 改定について

産業別最低賃金適用者を除く県内全ての産業・労働者に適用される「山梨県最低賃金」が平成20年10月25日から改定されました。

また、産業別最低賃金については、山梨地方最低賃金審議会（飯島純夫会長）が、10月29日、30日にそれぞれ下記の通り引き上げる答申を山梨労働局長に対して行いました。

山梨県最低賃金

山梨県最低賃金
1時間
676円

産業別最低賃金

産業別最低賃金	1時間	効力発生日予定
電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、 情報通信機械器具製造業	779円 (770円)	H20.12.26
自動車・同附属品製造業	788円 (778円)	H20.12.25

問い合わせ先

山梨労働局労働基準部賃金室

〒400-8577 甲府市丸の内1-1-11 TEL055-225-2854

経営者の責任

日曜日のテレビ番組「篤姫」を毎週楽しんでいます。激動の幕末時代の歴史ドラマを辿る中で、親子の愛情、恋、友情、出世、家族愛等、韓国ドラマの得意とするテーマも、てんこ盛りとなったドラマですが、インターネットの解説によると企画意図は、それぞれの個人が責任ある行動をとることの大切さだそうです。自分の立場、責任を自覚した篤姫の行動が江戸城無血開場に大きな役割を果たしていくというあたりが大きな山場になるとのことです。

「経営者の責任」を考えると、今まさに未曾有の経済危機の中にあつて、これほど求められているものはないでしょう。資本主義の根幹である金融における世界的混乱の中で、どのような経済社会に落ちていくのか全く予想がつきませんが、経営者は難破することなく自分の船の舵をとって行かなくてはなりません。まさに、暴風雨の真只中にある客船の船長の心境でありましょう。状況の的確な把握、判断、決断、実行力が発揮されるべき時であります。

何人かの経営者の皆さんにお話を伺う機会がありました。

その中の一人に、厳しい昨今、来店客が減って、売上単価も下がっています」といつ、しごく当然と思われる話をしたところ、言下にこう言われました。どこでもやっているような事しか普段からやっているからです。その店に納得しているお客さんは、こんな時でも決して逃げてはいません」と。

いろいろな決断と実行があるのでしようが、多くの経営者の皆さんが逃げることなく、自社の経営計画をしっかりとして戦っている姿を見て、私の中にも新たな意欲が湧いてきました。

ibuki

息吹



▶ データから見た

業界の動き

山梨県中小企業団体中央会

情報連絡員報告(平成20年10月分)



本県の10月の景況は、全業種のDI値で、売上高は-4%(前年同月比-30)、収益状況は-6(前年同月比-32)、景況感-7(前年同月比-46)とDI値は大幅に悪化、景況感については、過去最低となった。

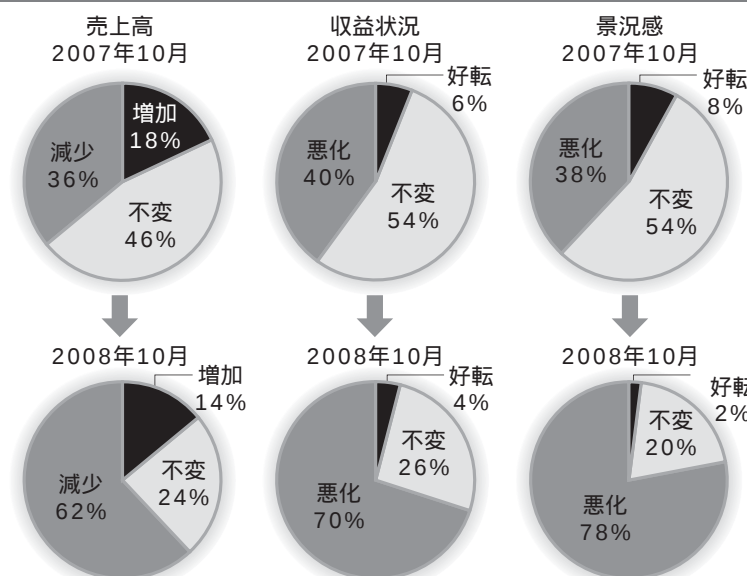
業種別では、製造業の売上高のDI値は-55(前年同月比-35)、収益状況は-65(前年同月比-20)、景況感-8(前年同月比-50)であった。

非製造業のDI値においては、売上高は-4(前年同月比-26)、収益状況は-6(前年同月比-40)、景況感-73(前年同月比-40)となった。

製造業、非製造業ともに対前年同月比のDI値では、大幅にポイントを下げ、特に全体で過去最低を記録した景況感DI値を業種別で見ると、製造業で-50ポイント、非製造業でも-43ポイントと全く先行きの見えない中小企業の厳しい経営環境がうかがえる。

原油価格が下落をみせる一方で、世界規模での経済不況が続き、円高、株安と我が国の経済に及ぼす影響が様々な要因となって、さらに中小企業の経営環境を悪化させている。

データから見た業界の動き(平成20年10月分)



トピックス

今回は10月31日から緊急保証制度(対象545業種)11月14日から618業種)が開されたことを受け、それぞれの業界における利用ニーズ並びにこの制度に関する意見について聞いた。

現状の景況では、借入しても返済に不安があり、経費圧縮等といった我慢の状態(食品製造)設備投資が一段落しており、新たな借入ニーズはない(ワイン酒造)資金は不足しているが、借入れはマイナスにしかならないため、状況は厳しい(アパレル)資金繰りは悪化しており、利用ニーズもあると思うが、長期の据え置きを望む(機械金属製造)現在の借入金返済で一杯の状況で新規融資を受ける気にはならない(貴金属製造)主な対応としてはこれまでとさほど変わらない。余りメリットを感じられないので、ニーズは低い(卸売業)現在当組合が置かれている状況は、

事業の存廃をどうするか。しかし、規制緩和策で中小小売業者を廃業へと追い込んでしまった現在の施策は何の意味も持たない。(水産物)公共工事を行っている事業者は、下請セーフティネット融資を利用しているの、この制度の利用は少ないと思われるが、それ以外の事業者や下請業者の利用ニーズはあると思われる。(建設業)資金を借りても返済目処が立たない。(住宅建築)金融機関は利用してくれないが、実際はハードルが高い。それよりも保証協会の利率を下げてほしい。条件が含まれ利用したい。(運輸業)制度に対する期待もある一方で、利用したいが、返済する目処が立たず、借入をすることが難しいとする中小企業の厳しい現実が垣間見える。

業界から一言

●製造業
●食料品(製麺)ノ11月より小麦粉の仕入れ値が上がる。値上げの予定がないため

●非製造業
●小売(SC)ノ衣料関連はプ

厳しい。

●繊維・同製品(繊維)ノ円高の影響により、特に欧州向け、韓国向け商品の注文が少なくなってきた。

●繊維・同製品(ニット)ノ欧米の非常に安価なブランドがショッピングエリアに次々に出店し始めていることから、各小売店の安売り攻勢が一段と激化する模様。製造業者はこの影響をかなり受けると思配。

●木材・木製品製造ノ木材の原材料の高騰で、製品の価格が15%程度上昇している。プレカットの仕事量はほぼ横ばいだが、製品の動きは良くない。

●窯業・土石業(砂利)ノ中部横断自動車道建設工事・リニア実験線延長工事とも骨材を使用するには至っておらず、発注自体地域的な片寄りがあり、早期の着工個所増加を望む。

●廃棄物処理ノ資源関係業は世界恐慌の影響で、販売枠が激減し、価格の設定が出来ない状態。また、中国の景気低迷も重なり、資源の輸出がゼロの状態。企業の排出抑制の進行、排出企業

ロバーでの販売期間が、セール開始時期が年々早くなっていることにより、短くなっている。各テナントでの販売戦略にも厳しさを感じる。

●小売(電機製品)ノ円高の影響で国内市場のメーカー間の競争が更に激化。又取引額による地域店戦略に拍車がかかり、系列からはずされる地域店が増加。

●小売(石油)ノ10月から公正で透明な市場価格連動の毎週仕切改定方式が導入された。

●宿泊業ノ紅葉のシーズンが年々短くなっているの、遅く紅葉し(10月末)早く散る(11月中旬)10月といえども悪い状況。冬以降の予約受注が減少気味。

●廃棄物処理ノ資源関係業は世界恐慌の影響で、販売枠が激減し、価格の設定が出来ない状態。また、中国の景気低迷も重なり、資源の輸出がゼロの状態。企業の排出抑制の進行、排出企業

の縮小化および転出と厳しい状況。土木建設関連業者の参入が多い。

●建設業(総合)ノ建設工事を対象にこれまでの出来高払いの融資制度から、出来高以上の額の融資制度が発注する効果は未定。

●建設業(型枠)ノゼネコンの倒産も多く、代金を回収できない事例も多くなってきた。仕事が少なく休業している者も多い。

●建設業(鉄構)ノ鋼材価格H型鋼)の下落傾向を先取りしてゼネコンからの値下げの要求が出ているが、鋼材の実勢価格は下がっており、赤字受注せざるを得ない物件がでてくる。

●運輸(トラック)ノメーカー企業、製造業の輸出入の減少、国内生産量減産の影響で、年末年始、年度末は非常に低調な動きになる。と予測。荷主に物流改革を提案し、収入源とすべく対応を図っている。

業界の声

●山梨県砂利協同組合

理事 飯田 敏夫氏

砂利業界の歴史について

昭和26年頃、洗浄設備を付けた可搬式砂利採取機が開発されたことにより、砂利採取は全国的に広がり、昭和20年代後半には、山梨県でも富士川本流及び支流で砂利採取が開始されました。しかし、現在では全国いたるところの河川で、天然砂利資源が枯渇、良質な河川砂利を採取しているのは、山梨県以外には数県しかない状況となっています。

業界の現況は?

現在の砂利業界は、建設業界の不況の煽りを受け、非常に厳しい状況となっています。組合員も39社いますが、砂利採取のみで操業している企業は20社程度です。他の企業は仕事量の減少により、生コン業や建設業との兼業や骨材販売を専門に行っています。

業界の景況悪化の原因としては、仕事量の大幅な減少と公共工事の際に試算される、積算価格の低下です。仕事量に関しては、公共工事をはじめ民間工事までも減少しており、砂利業界の企業全てに行き渡るだけの仕事がありません。積算価格に関しては、とても収益を出すことができない価格まで下がり、仕事を受注しても利益が出ない状態が続いています。

今後の業界は?

今後、最も期待していることは、リニア実験線延長工事及び、中部横断自動車道工事です。リニアに関しては、各工区が一斉に発注されていますが、砂利・砂の納入までは工事が進んでいません。また、中部横断道に関しては、分割発注が多く、その恩恵を与えるのは一部の企業のみという見方もあり、早期の一括発注を待ち望んでいます。私も、これらが、業界を再生させる最後の機会と捉えています。

また、これらの工事で発生する建設残土は、砂利採取後に処分することにより有効利用できる土地が県内にあるので、今後は行政側の関与もお願いしたいと考えています。

現在は、積算価格も適正なものに戻りつつあり、業界は多少ですが改善傾向にあるため、今後も骨材共同販売制度を強化することによって、骨材価格を適正化させ、少しでも業界を活性化できるよう活動していきたいと思っています。

TOPICS

山梨県印刷工業組合



多くの組合員が参加して行われた

変革の必要性が迫られている状況。その様な中、組合では組合員の受注機会を拡大するため、官公需の入札制度改善にも積極的に取り組み、山梨県のみならず各市町村等自治体へ拡大し、印刷を物品扱いから製造請負に変更してもらい、よう働きかけており、今回のセミナーでの提案を含む新技術を導入することで、組合員の営業・技術力の向上につながるものと期待している。

山梨県印刷工業組合（笠井健夫理事長）は、11月13日（木）中央会研修室において組合員を対象とした「新技術導入セミナー」を開催した。

当組合に組織される教育・労務委員会が企画・実施したもので、テーマを、メディアテクノロジー・ジャパンが考えるPOD成功のヒント」とし、講師にタイトルにあるメディアテクノロジー・ジャパンのPOD営業推進部の富永一公氏、元充氏の2名を招聘し、Trueflowの活用によるハイブリット運用「仕事創出のための携帯電話サービス」について約30名の組合員が熱心に聴講した。

POD（プリントオンマインドの略）とは、印刷業界で主流となっているオフセット印刷による他品種小ロット印刷の発展系で、いわゆる必要ときに、必要な人に必要な数だけ」というエコロジーなニーズへの対応の概念であり、印刷産業界では対象が紙にとどまらず、多様な素材へ、情報加工サービスへ、さらに情報通信へと、その事業の領域拡大、業態



講演する富永氏

地産地消の住まいづくりへ

ACTIVE KUMIAI

協同組合山梨県産材健康住宅研究会近藤渉理事長）は、健康にも環境にも配慮した家づくりを推進している。平成17年4月に設立された当組合の完成住宅は現在29棟を数える。

当組合では、住宅の構造材および細部の造作、またインテリアなどその他部材にも極力地産品を取り入れようとしており、地産地消による資源循環と地球環境に貢献する住まいづく

最近の取り組みには、富士川流域材ツアーと題して、伐採体験など山梨県の森林に触れる機会の提供や、再生PETを使用した排水管を標準仕様とするなどがある。また、地産地消の考えの裏付けとして、ウッドマイレージという活動に取り組んでいる。ウッドマイレージとは、木材の輸送距離と木材量を乗じたもので、木材輸送過程のエネルギー消費を少なくし、環境にやさしい木の利用を促進するための指標として使われ始めているもので、当組合の南部町のモデルハウウという数値を算出している。このように他分野との連携を含めたエコロジ、地産地消、環境共生、安全・安心など多方面での活動は盛んである。

可能な限りシックハウスなどの有害物質の削減を追求する健康住宅としての特徴。自然素材を基本に、可能な限り土に還る、再利用しやすいリサイクルしやすい、廃棄時に環境への負荷が小さい建材を選定し、ごみ問題にも配慮しつつ、地産地消を推進する環境共生住宅としての特徴。これらの特徴を備えた健康住宅を普及すべく、昨年5月にオープンした南部町モデルハウス蔵の家、今年4月リニューアルオープンした甲府市平瀬町のモデルハウスを活用し、他分野を絡めめた研究を重ね、新しい家づくりの仕組みを確立させ、一人でも多くの方に住んで頂き、より良い地球環境と循環型資源による持続可能な社会を次世代に残したいと考えている。

●お問い合わせは

住所 ▼山梨県甲府市平瀬町399-9

TEL ▼ 0120-251-090

12 ▶ http://www.geocities.jp/vernacular_alps/



南部町モデルハウス「蔵の家」

TOPICS

長坂ショッピングセンター協同組合



個別店舗の分析も併せて行った

上條氏は講演会前に個別店舗を視察し、店舗のレイアウトについてでも分析を行い、新たなレイアウトについて提案を行つた。熱弁を奮い、参加者からも活発な意見交換が行われた。

本講演会において説明されていない項目については、来年2月に開催される第2回講演会において説明されることになった。

トの上條資男氏(Forum K 主宰)は、客が店を選ぶ基準」「商圈分析等について説明した後に、「物理的条件」が相手より勝っている事が、心理的条件より重要であることを強調した。これは、よほどの特別な商品でない限り、一般的な商圈を飛び越えて来店する顧客は少数であること。また、店舗面積を広くとる見せることが、その他のサービスよりも重要であることを示した事である。また競争の原理、客が店を選ぶ基準)は、商品が豊富に揃っている店、気軽に自由に買物できる店、信頼できる店、そして価格の安い店の4つ

近年、山梨県内全域で県外大手資本による大型店舗が出店されている。このような中、地元の小規模商業者により設立された長坂ショッピングセンター協同組合・藤森正司理事長）では現状の売上を保つため、競合店対策に必要なノウハウを取得に関する講演会を開催した。

講演する上條氏

大型店との競争を

勝ち抜くためには

ACTIVE KUMIAI

近年、山梨県内全域

近年、山梨県内全域で県外大手資本による大型店舗が出店されている。このような中、地元の小規模商業者により設立された長坂ショッピングセンター協同組合・藤森正司理事長）では現状の売上を保つため、競合店対策に必要なノウハウを取得に関する講演会を開催した。

講演する上條氏

●山梨県中小企業団体青年中央会



挨拶する小林会長

青年部県大会開催

山梨県中小企業団体青年中央会(小林育也会長)は、11月26日(水)「古名屋ホテル」において平成20年度組合青年部県大会をパネルディスカッション、交流会の2部構成により開催した。約50名の青年経営者及び後継者を集めた大会は、「明日を信じて仲間が語る!」をテーマに「100年に一度の大津波」と形容されるほどの世界的な経済不況の中、他の青年経営者がどのような事業活動を行っているかを参考にしてもらうこと、また、この大会を機に、青年中央会に所属する若手経営者及び後継者が厳しい現状を認識した上で、新たなビジネスの可能性が身近にあることを感じ、明るく前向きな気持ちになってもらうことを目的に開催された。

パネルディスカッションは、小林会長を進行役とし、3名の経営者(千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事 株式会社水楽 専務取締役 佐久間寛樹氏、山梨県中小企業団体青年中央会 代表取締役 石原政人氏、古名屋ホテル 代表取締役 伴野公亮氏)がパネリストとして開催され、それぞれの体験に基づいた発表が行われた。

会場を移して行われた交流会には、山梨県商工労働部 商工総務課飯沼課長、山梨県中小企業団体中央会内藤会長、商工組合中央金庫福田支店長等の来賓が参加し、山梨県経済の先行き等について意見交換が行われた。



千葉県より参加された佐久間氏(右から2人目)からも活発な意見が出された

●山梨県中小企業労務改善団体連合会

活力ある職場づくり推進運動 山梨県大会を開催

功労者など24人を表彰

11月26日甲府市朝気ホテルクラウンパレス甲府において第22回活力ある職場づくり推進運動山梨県大会(主催 山梨県中小企業労務改善団体連合会・共催 山梨県・後援 山梨県中小企業団体中央会)が開催された。

この大会は、毎年11月を活力ある職場づくり推進運動月間とし、中小企業へ各種労働施策の活用促進と、人事・労務管理改善の気運の向上を図り、従業員にとって働きがいを感じる活力と魅力のある職場環境整備を推進することを目的としており、労務改善活動に尽力した功労者、優良従業員に対して表彰を行った。

式典では、知事表彰団体功労者表彰3名、中小企業団体中央会会長団体功労者表彰6名、労務改善団体連合会会長表彰団体功労者12名、優良従業員表彰3名に賞状と記念品が手渡され、受賞者を代表して山梨県自動車整備労務改善協議会の川口香氏が謝辞を述べた。

また、式典終了後記念講演会が開催され、加藤社会保険労務事務所代表加藤里美氏が「労働契約法のポイント」と題して、20



挨拶する大宮山会長



講演する崎山氏

年3月に施行された「労働契約法」の条文についての解説、また、崎山・マーケティングオフィス代表崎山嗣夫氏が「元気な企業～秘訣はここに～」と題して、日本発創造的なマーケティングによる元気な企業の実績と貴重なノウハウについてそれぞれ講演を行った。



参加者のみなさま

続いて、逆風の中でがんばる組合・企業をテーマに岐阜県菓子工業組合 北野茂樹理事長、飛騨高山の宿本陣平野屋の女将 有巢米里さん、関金属工業協同組合 兼松成吾理事長の3名による事例講演が行われた。

懇親会は、参加者が地域を越えてテールを囲み、情報交換や親睦を深めた。翌日は、飛騨高山に足を延ばし山里の紅葉を満喫した。

土地の風土に育まれた垂直の尺度がある。目まぐるしい情報化の現代では、水平の尺度ばかりが重要視される。しかし、根っこが大切である。全ての源は、「土」。土から生まれ土に帰る。経済環境が厳しいからこそ、精一杯生きることが大切。」と語った。



大会風景

レディース中央会 全国フォーラム 岐阜に集う

●中小企業団体中央会女性部会

10月24、25日岐阜において、組合関係女性経営者等全国交流会「レディース中央会全国フォーラム2008」岐阜大会が開催された。全国フォーラムと名称を変えて初めての大会には、本県から18名、全国から約350名の女性経営者、経営者夫人、組合の女性役員が結集した。



大会風景



第60回中小企業団体全国大会が開催



優良専従者
山梨県中小企業団体中央会
労働課係長 保坂 淳



組合功労者
山梨県石油協同組合
理事長 興石 保 氏



優良組合
山梨県中央青果商業協同組合
（理事長 小松義文 氏）

今回で第60回目となった中小企業団体全国大会は、11月20日全国中央会・宮城県中央会の主催により、全国から2300人の組合役員等が参集して、連携、創造、発展をキャッチフレーズに宮城県仙台市、仙台サンブラザにおいて開催された。

本県からも、多くの組合役職員の方々に参加申込みをいただき、現地合流を含めて総勢40名が参集した。当日は、経済構造が激変する中で、経済の活性化や地域経済再生の担い手である中小企業の大いなる発展と、連携の絆を広げ中小企業組合組織をより強固にする契機とするため、自らの決意を内外に表明するとともに、

最後に決議事項の早急な実現を求める、大会宣言が全国中小企業青年中央会・藤井裕久会長より宣言され、満場の拍手の下、締めくくられた。

表彰式では、山梨県関係で優良組合として山梨県中央青果商業協同組合（小松義文理事長）組合功労者として山梨県石油協同組合の興石保理事長、優良専従者として中央会職員の保坂淳が、それぞれその功績を称えられ表彰の栄に浴した。

（全国レディーズ中央会、平賀ノブ会長）、事業承継税制の確実な実施等と地域活性化、中小商業・サービス業対策の充実、強化について、石川県中央会・五嶋耕太郎会長）、資源高・原料高・金融危機に対応する景気対策の実施と下請対策の推進について（宮城県中央会・今野敦之副会長）から意見発表がなされた。

情報BOX

「安心実現のための緊急総合対策」、 「生活対策」における 中小企業対策(主として緊急保証制度)について

1-1.概要

「安心実現のための緊急総合対策」に続いて、平成20年10月30日政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議において、「生活対策」が決定され、金融不安や景気後退の影響を受けやすい中小・小規模企業について、十分な資金繰り対策を実施し、また、税制措置や人材確保・育成等により活性化を図っていくこととなりました。

1-2.緊急保証制度の概要

(1)緊急保証制度の対象となる中小企業者の方

対象業種(618業種)に属する事業を行っており、次の1～3のいずれかの要件に当てはまる中小企業者の方で、事業所の所在地を管轄する市町村長又は特別区長の認定を受けた方が対象となります。

緊急保証制度は、平成20年10月31日に545業種を対象に開始しましたが、11月14日に73業種が追加されました。

なお、対象業種については、日本標準産業分類(平成14年3月改訂版)の分類番号に基づき、指定を行っております。各業種の詳細については、日本標準産業分類に説明があります。ご自分の業種がどこに分類されるか分からない場合は、こちらで確認下さい。

- 1 最近3か月間の平均売上高等が前年同期比マイナス3%以上減少している中小企業者
- 2 製品等原価のうち20%以上を占める原油等の仕入価格が20%以上上昇しているにもかかわらず、製品等価格に転嫁できていない中小企業者
- 3 最近3か月間(算出困難な場合は直近決算期)の平均売上総利益率又は平均営業利益率が前年同期比マイナス3%以上低下している中小企業者

(2)保証の内容

一般保証の2億8千万円(うち無担保8千万円)までとは別枠で2億8千万円(うち無担保8千万円)までの利用が可能となります。

この緊急保証制度は、セーフティネット保証5号で、信用保証協会の100%保証です。責任共有制度の適用はありません。なお、既にセーフティネット保証を利用している場合は合算で2億8千万円までとなります。ただし、認定を受けた場合でも金融機関及び信用保証協会の審査がありますので、上記の内容を無条件で受けられるものではありません。(3)参考(緊急保証制度の申込み)

- 1 本店(個人事業主の方は主たる事業所)所在地の市町村(または特別区)の担当課(商工担当課等)の窓口にて認定申請書を提出し、認定を受けて下さい。
- 2 ご希望の金融機関または所在地の信用保証協会(全国信用保証協会連合会のサイトへ)に認定書及び決算書等借入に必要な資料を持参のうえ、保証付き融資を申し込んで下さい。

● 詳細については、関東経済産業局のWEBサイトをご覧ください。
<http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chusho/kinyuu/20081114seikatsutai.html>

なお、本会でも相談を受け付けておりますので、ご連絡下さい。

Tel.055-237-3215 山梨県中小企業団体中央会

トラック運送業に係る 燃料サーチャージ制の導入促進対策 (第2次)

国土交通省では、本年3月に公正取引委員会と連名で「軽油価格高騰に対処するためのトラック運送業に対する緊急措置」をとりまとめ、関係省庁等の協力をいただきながら、全力を上げて燃料サーチャージ制の導入を促進してきたところです。

今般、年末の輸送繁忙期を控え、以下のとおり、燃料サーチャージ制導入促進のためのさらなる対策を実施します。

1.中央・地方の経済団体等に対する働きかけの強化

荷主団体第1次要請先(本年3月～6月頃に要請を行った約280団体)に対する再要請の実施

荷主団体要請先のさらなる拡大(団体物流部会や他の業種)物流子会社(団体及び個別事業者)に対する要請の実施

2.トラック運送事業者に対する働きかけの強化

大手トラック運送事業者に対する個別の働きかけ

中小トラック運送事業者への周知徹底

- ・貨物自動車運送適正化事業実施機関の巡回指導の際に周知を行う。
- ・全日本トラック協会が10月に実施する予定の「サーチャージ導入実態調査」の際に併せて周知を行う。
- ・各地方運輸局において中小トラック運送事業者に対する説明会を引き続き実施する。

3.トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議の活用

- ・全国及び地方に設置した「トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議」(メンバー:学識経験者、荷主企業、トラック運送事業者、行政等)を活用して燃料サーチャージ制導入の促進を図る。

4.導入推進体制の拡充強化

- ・本省、地方運輸局、運輸支局等に設置した相談窓口(燃料サーチャージ制導入推進事務局)における対応強化(金融機関の貸し渋り等にも対応)

5.公正取引委員会、中小企業庁との連携強化

- ・具体的な違反事例への対応を通じて連携強化を図るとともに下請保護情報ネットワーク(仮称)の構築によりさらなる強化を図る。

インターンシップ体験記

都留文科大学 3年 米山 紗由里

今回私は山梨県中小企業団体中央会でインターンシップをさせて頂きました。普段企業の方に直接お話を聞く機会もなく、なかなかできないことですが、このインターンシップでは多くの企業の方のお話を聞くことができ、今まで知らなかった知識や企業の現状など新たに多くのことを知ることができたのでとても貴重な体験だったと思います。また、お話を聞くうちに中小企業のことについて今まで自分が何も知らなかったのだと感じました。それまで関心があまり強くなかったのですが、この体験から企業や労働という問題に関して興味が増したと感じています。また、実際に働いている方からのお話はとても現実的であったので、これから就職活動をする私にとってはとても興味深く、参考になるものばかりでした。

この経験は自分の中でとても大きな変化をもたらしたように思います。特に変化したことは就職に対する姿勢です。今まで私は働くことに対して深く考えていなく、安易に考えすぎていたと気づきました。何も知らず就職活動をし、社会に出て行こうとしていた自分自身を見つめ直し、反省する良い機会でもありました。

また、マナーについても教えて頂くことができたことで、社会に出て必要なことも身につけることができました。私にとってインターンシップは考えていた以上に自分のためになるものであったと実感しています。

今後この経験から学んだことを社会人として働く上で実際に活かしていきたいと思っています。そして、様々なことに疑問を持ち考えながら、自主的に行動することができるような社会人になりたいと思います。

多くの方にご指導頂けたことをとても感謝しています。ありがとうございました。



地球環境大切に 荷物と安全運びます

ストップ温暖化!!

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起こっているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任もって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨県中小企業団体中央会

第39回中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催

中央会は11月2日(日)、笛吹市「ウッドストックカントリークラブ」において、中小企業団体の親睦と交流を図るため、第39回中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催し、中央会会員をはじめとして111名が参加した。

当日は、朝から快晴に恵まれ絶好のゴルフ日和の中、参加者は新ペリア方式による団体戦、個人戦を行い、日頃のゴルフの腕を競い、鋭気を養った。

ゴルフコンペ終了後、参加者同士の交流も兼ねた表彰式が開催され、個人戦と団体戦の順位賞の他、ニアピン、ドラコンなどの特別賞(個人戦)の受賞者にそれぞれ賞品が贈られた。今回、個人・団体とも山梨総合管財事業協同組合が優勝を獲得したが、個人戦優勝の志村幸一氏は、昨年に引き続きの優勝となった。

団体戦、個人戦の優勝・準優勝は次のとおり。

団体戦

優勝 山梨総合管財事業協同組合
準優勝 山梨県冷凍空調設備事業協同組合

個人戦

優勝 志村 幸一(山梨総合管財事業協同組合)
準優勝 河野 富重(山梨県造園建設業協同組合)



団体優勝した山梨総合管財事業協同組合
左から田辺氏、志村氏、石川氏、三神氏



情報BOX

労働力人口減少に“先の一手”

高齢者雇用でこれからの勝ち抜く!!

高齢者雇用に関するセミナー

高齢者雇用に関するセミナーを開催します！労働力人口減少が叫ばれる中、高齢者雇用は“有効な一手”となります。是非、企業経営者の方には積極的にご参加頂けますよう、よろしくお願いします。「このセミナー、聞いて損はありません!!」

日時 平成20年12月18日(木)13:30～

場所 ホテル クラウンパレス甲府(旧厚生年金会館)白根

講演内容 「継続雇用制度を円滑に進めるためには」.....社会保険労務士 赤池 幸江 氏
「70歳まで働ける企業づくり」.....特定社会保険労務士 雨宮 隆浩 氏
「高齢者雇用における奨励金とは？」.....(社)山梨県雇用促進協会

申込方法 下記「電話番号」にてお申し込みください。

問い合わせ先 山梨労働局委託 「70歳まで働ける企業」創出事業
山梨県中小企業団体中央会 Tel.055-237-3215 Fax.055-237-3216

退職金準備等をお考えの経営者の皆様に！

山梨県中央会共済制度

◎特定退職金制度...
大企業並みの退職金制度が確立できます。

◎総合保障プラン...
集団扱定期保険により割安な掛金です。



引受会社

三井生命保険株式会社

〒400-0031 甲府市丸の内1-17-10 東武穴水ビル8階
TEL055-224-3152

編集後記

今年も残り1ヶ月を切りました。

やり残した事、やりかけの事を整理してから、気持ちよく新年を迎えたいものです。

ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



知事と商工団体との懇談会開催



要望書を知事に手渡す商工団体代表者

11月12日、甲府市内のホテルで知事と商工団体との懇談会が開催された。当日は横内知事をはじめとする商工労働部幹部ら7名と山梨県中小企業団体中央会、甲府商工会議所、富士吉田商工会議所及び山梨県商工会連合会の正副会長及び専務理事等21名が出席した。

懇談会は、甲府商工会議所望月副会頭の司会で、開会のあいさつを山梨県商工会連合会の竹井会長が行い、主催者団体の出席者の紹介がなされた。引き続き主催者団体代表のあいさつを幹事団体の甲府商工会議所上原会頭が行い、続いて横内知事があいさつを行った。次ぎに要望書を富士吉田商工会議所堀内会頭が横内知事に手渡し意見交換を行った。最後に、山梨県中小企業団体中央会内藤会長が閉会のあいさつを行った。

意見交換の内容は、山梨県商工会連合会竹井会長が、小規模企業対策・

- ・(1) 経営支援機能の強化
- ・指導員等補助対象職員の人件費の安定的確保と支援人材強化策の拡充
- ・事業費の安定的確保
- ・(2) 企業力向上支援の拡充
- ・地域の小規模事業者にとって身近なサテライト拠点を県の施策として展開
- ・(1) 中小企業の販路の拡大強化
- ・(1) 中小企業等への発注等の増大
- ・官公需適格組合を積極的に活用
- ・組合随意契約、少額随意契約制の更なる活用

連携組織対策の拡充強化について、山梨県中小企業団体中央会内藤会長が、中小企業の販路の拡大強化について、富士吉田商工会議所堀内会頭が、資金繰りの円滑化・環境整備を通じて地域経済の振興について及び甲府商工会議所上原会頭が、広域的連携を踏まえた総合的な基盤整備と地域振興策の強化の4項目の要望についてそれぞれ説明した。また、山梨県中小企業団体中央会松葉副会長より、各地域に設置されている地場産業センターの活性化策について、も要望が出されるとともに、内藤会長より産業観光の中央会の取り組みについて説明された。最後に横内知事は、関係者と検討しながら12月県議会の平成20年度補正予算や、2月議会の平成21年度予算編成にも反映できるよう検討していきたい。と答えた。

要望内容の詳細は次のとおり。

一 小規模企業対策・連携組織対策の拡充強化



要望を行う内藤会長

- ・官公需施策の市町村に対する普及・リニア中央新幹線等の大型プロジェクトの工事発注は、地元企業を優先するよう関係機関に依頼
- ・指定管理者制度での地元中小企業や組合等の更なる活用促進
- ・(2) 市場開拓支援の拡充強化
- ・農商工が連携して、大都市でのフェアの開催
- ・富士の国やまなし館の規模拡大を行い情報発信機能の更なる強化
- ・三 資金繰りの円滑化・環境整備を通じて地域経済の振興
- ・(1) 山梨県版セーフティネット融資の創設
- ・一般保証融資も対象とした借入の一本化による返済負担の軽減、キャッシュフローの適正化を支援す



要望に答える横内知事

- ・(2) 金融環境整備
- ・山梨県版セーフティネット融資の金利設定の見直し
- ・信用保証協会の基盤強化
- ・信用保証における責任共有制度撤廃を国へ働きかけ
- ・(3) 新分野進出等への支援
- ・新分野進出のための長期・超低金利の制度融資の拡充
- ・四 広域的連携を踏まえた総合的な基盤整備と地域振興策の強化
- ・(1) 首都圏、隣接県等との広域連携の推進
- ・首都圏や隣接県等との広域企業情報ネットワーク等推進
- ・(2) 魅力ある商業まちづくりの推進
- ・小売商業施設の適正配置の推進
- ・まちづくりと大型店等の地域貢献の推進
- ・(3) 新エネルギー産業の創出と集積および企業立地に伴う周辺環境整備の推進

中央会イベント情報

2009

中小企業団体新春交流会

●平成21年1月10日(土)AM10:30~

●アイメッセ山梨(甲府市大津町)

式典 10:30~

記念講演 11:20~

講師:三遊亭好楽 師匠

講演:「人生好んで楽しもう!」

交流会 12:20~

・温かい料理を囲みながら

賀詞交換

・恒例の初売も実施

参加費(1名様)2,000円



三遊亭好楽

日本テレビ系「笑点」の大喜利メンバーとしておなじみ。持ち前の愛敬と回転の速さが売りもので、明るい高座で古典落語に精通を重ね、テレビやコマーシャルでも大活躍中

山梨県中小企業団体中央会が推進します



随時募集中

労災上乘せ共済

万一の従業員の災害に備え、十分な安全対策を講ずると同時に、十分な補償体制を整えておくことが「企業の繁栄」と「従業員福利厚生」のための必要条件です!

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社 山梨支店

〒400-0858 山梨県甲府市相生2-3-16

TEL 055-228-4331 FAX 055-228-4385

「けんみん信組 ビジネスローン」

事業者向けローン

ご融資期間

最長5年!!

ご融資金額

50万円~
最高500万円!!

スピード

審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人(協同組合は不可)および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。(但し、業種によっては受付出来ない場合があります)
- アイフル株式会社の保証が得られる方

※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー



山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151

http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp

YAMANASHI CHUO BANK 山梨中銀

ビジネスサポートローン

「一般口」「環境配慮口」

最大3,000万円のスピード対応融資

- 担保不要
- 融資期間 最長5年
- 第三者保証人 不要
- スピード審査

「環境配慮口」

※審査の結果、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

※お問い合わせは、お近くの〈山梨中央銀行〉の窓口、または下記フリーダイヤルまでお気軽にどうぞ

0120-201862

山梨中央銀行